

令和元年度 第2回千曲市地域公共交通活性化協議会 会議概要

期日：令和元年8月22日（水）午後2時00分～午後3時00分

場所：千曲市役所 更埴庁舎 集団指導室

出席者：委員出席20名（3名欠席）、事務局4名（委託事業者1名含む）

会議事項

（1）書面協議（千曲市循環バスの運行事業者の変更）の報告について

千曲市循環バスの運行事業者の変更の報告について資料に基づき、事務局より説明。

<委員からの意見・質問とそれに対する回答>

（高村委員）

1. 書面協議の実際の回答数はどのくらいか。
2. 稲荷山区長会から、稲荷山駅までバスを通してほしいといった要望が出ている。他にも地域からの意見はあるか。また、各地域への説明はどのようなスケジュールで行うか。

（事務局寺沢）

1. 書面協議の回答数は、全体23のうち18の回答があった。全て異議なし。
2. 稲荷山駅までバスを通してほしいという要望は認知している。現在、稲荷山地域を運行している姨捨線及び大田原線の利用者にアンケートを実施している。その結果に基づいて稲荷山地区との検討を進めていく。

（高村委員）

稲荷山地区のバス再編について、稲荷山養護学校との協議だけではなく地域の住民とも協議すべき。

（事務局寺沢）

9月以降各地区にて、住民とも協議を進める。

書面協議の内容について報告を受けた。

（2）令和元年10月15日循環バスダイヤ改正について

令和元年10月15日循環バスダイヤ改正について資料に基づき、事務局・計画策定支援事業者（特定非営利活動法人 SCOP）より説明。

<委員からの意見・質問とそれに対する回答>

（新井委員）

再編について運行事業者との話し合いの機会を設けるべき。

（事務局寺沢）

書面協議及び事業者と個別での話し合いとなった。期間が短かったため、事業者が一同を介した話し合いの機会は設けることができなかった。

（新井委員）

今後は、事業者が一同を介して話し合いの機会を設けるべき。

（新井委員）

大循環線以外のその他の路線についても、利用者数を精査しながら再編を検討すべき。

(事務局寺沢)

他の地域も利用者数を精査すると同時に、地区との話し合いも重ねながら検討していく。

(事務局 SCOP)

利用者数の調査は今後もその都度行いながら、路線の改善を続ける。運行事業者には引き続き理解と協力をお願いする。

(新井委員)

各便で屋代駅での待機時間が多くある。どう対応する予定か。

(事務局寺沢)

具体的な対応はまだ検討できていない。駅ロータリーでの待機は減らしていく方向で、待機場所や回送についてシンリク観光と検討を進める。

(新井委員)

屋代駅にてどのように待機するか事前に検討をすべき。

(新井委員)

連携網計画に記載されている福祉（病院、介護）、観光利用についても考慮しながら再編を検討してほしい。

(柳沢委員)

大循環線再編により路線としての機能は高まった。それに伴い、運行ルートが削減された地域もあるため、混乱を起こさないようにすべき。そのための周知はどのように行うか。

(事務局寺沢)

市報 10 月号、バス停、バス車内に再編内容を掲示していくことで周知を進める。

(高村委員)

市としての大循環線利用者の数値目標はあるか。

(事務局寺沢)

市としての目標はない。市役所職員には大循環線の利用を促進していく。

循環バス再編案は承認された。

(3) バス停留所の新設及び名称の変更について

バス停留所の新設及び名称の変更について資料に基づき、事務局より説明。

<委員からの意見・質問とそれに対する回答>

なし。

バス停留所の新設及び名称の変更は承認された。

4. その他

バス停留所の新設及び名称の変更について資料に基づき、事務局より説明

<委員からの意見・質問とそれに対する回答>

(新井委員)

千曲線(市道)にバスが多く通るようになり、庁舎前の信号がさらに混雑することが予想される。現在、千曲線に面する立体駐車場及び新庁舎駐車場に規制がないため、混雑を助長する要因となっている。立体駐車場及び新庁舎駐車場の出入り口を左折専用にするなど対策を検討してほしい。

(事務局寺沢)

市役所内で情報を共有し検討する。

(事務局寺沢)

長電バスの屋代須坂線の運転手不足に伴うルート及びダイヤの改正について、住民に説明会を行った。ここで出た意見を基に協議を進め、住民との合意形成を進める。

(柳沢委員)

屋代須坂線の朝夕便を廃止するとのことであるが、利用者がいないということによいか。他の路線についても、利用者数を示しながら検討を進めていただきたい。

5. 閉会

小平副会長より挨拶ののち、閉会。

以上